

会員各位

令和5年1月吉日
矢作川環境技術研究会
会長 大成建設株式会社名古屋支店

第8回 建設工事における汚濁防止対策「矢作川方式」若手勉強会 受講者募集について（依頼）

1. 開催趣旨

持続可能な流域づくりに向けて自然共生にふさわしい地域整備の在り方とその具体的推進が求められています。既にESD（持続可能な教育）の取り組みは、様々な主体で推進され、各種事業や施工にも環境技術の重要度が増して、「矢作川方式」の経験にも関心が広がっています。国連においてはSDGs（持続可能な開発目標）^{※1}が掲げられ、土木技術者にも環境重視の考え方が拡大するとともに、土木分野にもカーボンニュートラル達成^{※2}に向けた貢献が期待されています。

本事業は、若手の現場担当者並びに異動で名古屋支店等に初めて赴任された方を対象として、「矢作川方式」で培った先輩方の実践経験による環境保全技術を学び、広く流域圏の視野を持って今後の事業や施工現場での課題対応に積極的に挑んで頂くことを目的に開講するものです。今回の若手勉強会は「対面形式」の講座を基本に、講師として顧問はじめ「矢作川方式」による環境保全対策工法等に経験有る技術者（OB含む）を招請します^{※3,4}。

※1：2015年9月、国連サミット採択の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すという国際目標。内容は17の目標と169の標的及び232の環境指標で構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。矢作川流域でも行政はじめ企業・各団体でSDGsへの取り組みが進行している。

※2：地球温暖化で自然災害が増加するなど気候変動の影響が世界で顕在化してきた。この実態を背景に、産業界は脱炭素社会に向けて真剣に取り組む時代に突入した。カーボンニュートラルは温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味する。この取り組みは、産業革命以前に比べ気温上昇を1.5℃以内に抑えるため、温室効果ガスの排出を世界全体で2050年までに正味ゼロを達成する必要があるという科学的知見に基づく。低炭素社会の構築に適した技術・行動はビジネスチャンスともいわれている。

※3：全国土木施工管理技士連合会 CPDS プログラム番号 780976（形態コード 101-1, 4unit）

※4：「新型コロナウイルス感染症」第8波の再拡大で緊急事態宣言が発出された場合などは、「対面形式」を中止してWEB「オンライン形式」に切り替え、同日開催ができるよう改めて準備します。

2. 主催

矢作川環境技術研究会

3. 内容

(1) 日時 令和5年2月16日（木）12：15（受付開始）、13：00（開講）～17：00（閉講）

(2) 場所 明治用水会館 2階 大会議室（アクセス→<http://www.midorinet-meiji.jp/>）

(3) 内容 第一部：「矢作川方式」の概要

① 矢作川流域圏の自然・社会環境の特徴、水質保全課題 講師：矢水協
「矢作川方式」の歩み、理念と仕組み、土地開発行為
など工事施工現場における水質保全対策の事例

② 土地開発・排水協議の概要、指導基準、協議手続き 講師：矢水協

③ 汚濁防止対策の基本、汚濁防止対策作業標準など解説 講師：大成建設(株)

第二部：「矢作川方式」の事例（課題と施工計画、対策工、管理）

- ① 工程進捗に即した効果的な矢作川方式の実践による河川環境負荷の低減
講師：大成建設㈱
- ② 黄鉄鉱による水質への影響とその対策
講師：愛知県企業庁 用地造成事務所 東三河詰所
- ③ 大規模造成における濁度の低減対策について
講師：三井住友・日本国土・長坂 JV（三井住友建設㈱）

第三部：質疑応答・意見交換（交流時間）、受講者アンケート調査（記入時間）

閉講式 講評（顧問）

総括（会長）

（4）参加費 受講者お一人 2,000 円（配付資料代）※⁵

教材：テキスト「新版 建設工事における汚濁防止対策の手引き 第二版」

※⁵ テキストは持参ください。無い方には「初版本」を無料貸与します。テキストは当日販売もします。

（5）定員

① 「対面形式」実施の場合

受講者：会員枠 26 名。「新型コロナウイルス感染症」拡大防止対策を実施します。申込み人数は一会員当たり 1 名とします。

② 「対面形式」が実施できない場合

WEB「オンライン形式」に切り替え、同日開催ができるよう改めて準備します。

（6）参加費の補足

① 「対面形式」：お一人 ¥2,000 円（配付資料代、消費税込）、参加費は当日の会場受付で徴収します。テキスト購入も同じです。なお、実施日の 2 日前からのキャンセルには、同額の取り消し料をご請求します。

② WEB（オンライン）形式：無料です。

（7）申し込み方法

案内書に同封の「受講申込書」に要件を記入して、研究会事務局へ FAX 又は E-mail で送信してください。CPDS 受講証明書の発行を希望する方は、受講を希望される本人の CPDS 技術者証（カード）の登録番号を申込書に記入してください。WEB「オンライン形式」による場合も受講希望の有無を申込書に記入してください。

受講者登録：申込みが定員を超えたときは、申込み締め切り日の翌日（2月2日）に顧問立ち合いで抽選し、受講決定者に登録確認書を送付します。抽選に漏れた方にはその旨をお知らせします。WEB「オンライン形式」に切り替えた場合は 60 名程で開催します。この場合、CPDS 受講証明書の発行はありません。

申込み期限：2月1日（水曜日）18：00（厳守）

定員枠内の選出者に登録確認書を送付します。登録者が都合で辞退されたときは、抽選に漏れた方より補欠順に問い合わせで登録します。

4. 付帯事項

(1) CPDS 学習プログラムの申請を行います。この証明書はご希望の方に発行します。

(2) 事後は実施結果を取りまとめ、次年度に向けて課題を抽出します。

(3) 「新型コロナウイルス感染症」拡大防止への配慮事項

参加登録者の研修制限

- 勉強会に出席を見合わせていただく要件
 - ① 37.0℃以上の発熱、感冒症状（咳・のどの痛み・下痢・嘔吐・体のだるさ・倦怠感）や息苦しさ・呼吸困難等がある方（体温 37.0℃以上の方は受講できません。）
 - ② 新型コロナウイルスに感染または感染疑いのある方と濃厚接触があってから 7 日以内の方
 - ③ 外国への渡航歴のある方で、帰国後 7 日以内の方
- 勉強会当日にお願いする要件
 - ① 当日はご自宅等で検温していただき、発熱が無いことを確認の上お越しください。
 - ② 感染予防のため、スタッフが受付時に「検温」して発熱が無いことを確認します。
 - ③ 当日は、マスク着用をお願いします。
 - ④ 会場等では、消毒等の徹底、受講時並び休憩時に 3 密予防（密閉・密集・密接を避ける）をお願いします。

(4) 明治用水会館の取り組み

若手勉強会の受講者および関係者は、利用する明治用水会館の「新型コロナウイルス感染症対策」を遵守します。

5. その他

筆記具は各自持参してください。受付時に「配付資料」と「お茶（500ml ボトル）」を配付します。研修会場（喫煙コーナー除く）は禁煙です。

CPDS 受講証明書の希望者には、閉式後「CPDS 技術者証」で本人確認を行い手渡します。本人確認ができない場合は渡すことができませんので、当日は必ず CPDS 技術者証を持参してください。

その他は当日の案内に従ってください。なお、受講される方は、事前に、本会発行「新版 建設工事における汚濁防止対策の手引き 第二版」、「研究年報 水は生きている 2022」、「研究発表予定稿・会員の現場紹介」などをお読みいただくと勉強に効果的です。

6. 問い合わせ先

矢作川環境技術研究会 事務局（野田・牧内）

TEL : 052-339-0855（呼出）、FAX : 052-324-8182、E-mail : jimukyoku@yakanken.jp

別紙

**第8回 建設工事における汚濁防止対策「矢作川方式」若手勉強会
タイムスケジュール**

令和5年2月16日（木曜日）
明治用水会館 2階 大会議室

時間	内容	担当・講師（敬称略）
11:30～	準備（演壇・机・椅子配置、機材セット）	会長・事務局・協力者
12:15	受付開始（開場）	事務局
13:00 13:00～13:10 (10分)	開講の辞 開講趣旨 オリエンテーション（講義編成とテキストの見方）	司会 大成建設(株)名古屋支店 営業部担当部長 池谷 清次 会長 大成建設(株)名古屋支店 副支店長 寺崎 祐司 事務局（㈱太陽機構） 野田 賢司
13:10～14:25 (75分)	第一部 「矢作川方式」の概要 矢作川流域圏の自然・社会環境の特徴、水質保全上の課題 「矢作川方式」の歩み、理念と仕組み、土地開発行為等工 事施工現場における水質保全対策の事例	矢作川沿岸水質保全対策協議会 事務局長 本田 巧
14:25～14:40 (15分)	事前協議手続き解説（開発計画・施工計画書）	矢作川沿岸水質保全対策協議会 水質保全課長 都築功憲
14:40～15:25 (45分)	汚濁防止対策の基本、汚濁水流出防止対策作業標準、配慮 事項の解説	大成建設(株)名古屋支店 土木部技術室専任課長 田中浩二
15:25～15:30	休憩（5分）	司会（1分前予鈴）
15:30～15:50 (20分)	第二部 「矢作川方式」の事例 事例1 工程進捗に即した効果的な矢作川方式の実践に よる河川環境負荷の低減	大成建設(株) 矢作古川分派施設作業所 山田弥生
15:50～16:10 (20分)	事例2 黄鉄鉱による水質への影響とその対策	愛知県企業庁用地造成事務所東三河詰所 工務第4G 課長補佐 深谷 剛
16:10～16:30 (20分)	事例3 大規模造成における濁度の低減対策について	三井住友・日本国土・長坂 JV 西尾造成作業所 上村則雄
16:30～16:35	休憩（5分）	司会（1分前予鈴）
16:35～16:55 (20分)	第三部 全体を通して補足事項、質疑応答、意見交換（交 流時間）、受講者アンケート調査（記入時間）	進行、会場全員
16:55～17:00 (5分)	講評・謝辞 閉講の辞	会長 司会
～17:15	アンケート票回収、CPDS 証明書を本人確認し手渡す 片付け（演壇・机・椅子収納、機材撤収）	事務局 会長・事務局・協力者

（備考）配付物：プログラム・タイムスケジュール（本紙）、受講者名簿、講師資料、受講者アンケート調査票、

矢環研概要リーフレット、会員通信（2022.1・2023.1）。

展示物：矢環研の冊子（研究年報、研究発表予定稿、会員の現場紹介）